



昨年に引き続き、島根大学の辻先生助言の下、出雲市環境政策課の声掛けで、三津海岸の漂着ごみの調査を、平田高校 JRC 部、出雲西インターアクトクラブと一緒に実施した。まず、6班に分かれて岩場のごみ拾いをした。短時間であったが、大量のごみを収集した。次にごみの種類分別作業を行った。



どこの国のペットボトルか教えてもらった。バーコードで製造国が分かると聞いて、驚いた。



どんなごみが、どれくらいあるのか。手分けして調査開始！

～佐香コミュニティセンター～

島根大学の辻先生から、海洋ごみ予報プロジェクトについて説明を受けた。三津の海岸にはライブカメラが設置してあり、漂着ごみの撮影、現地調査、数値シミュレーションにより、天気予報のように海洋ごみの漂着を発信する取り組みをしておられる。テレビで月に1回海洋ごみ予報を発信され、どんな時期にどんなごみが流れ着いているのかがわかり、海の清掃にも役立つと思った。

今回の調査結果で、収集したごみは生活ごみが6割を占め、国別でも6割が中国(33%)と日本(31%)のものであった。一人一人が意識してごみを減らし、地域の清掃活動にも参加していこうと思った。

